

公益社団法人日本プロスキー教師協会

賛助会員（法人用）ご入会のご案内

公益社団法人日本プロスキー教師協会は、国際スキー教師連盟（I S I A）に加盟し、日本で唯一のプロスキー教師の団体として活動しております。その活動は、プロスキー教師の育成・指導・検定を通じて、その資質の向上をはかり、併せて一般スキーヤーに対するスキー指導及び安全確保に関する調査・研究等を行い生涯スポーツとしてのスキーの発展に寄与してまいりました。

また、スノーボードをはじめテレマークスキー、ラングラウフ（クロスカンントリー）、山岳スキーなどあらゆる雪上スポーツの普及と安全の確保に努めております。

今後も協会の活動を活発化し、雪上スポーツの指導を通じて国民の生涯スポーツの発展に寄与してまいり所存です。

つきましては、当協会の主旨をご理解いただき、活動をご支援していただく方々に賛助会員としてのご参加をお願いいたしております。

ご検討をいただき、ご入会いただけますようお願い申し上げます。

< S I Aの歩み >

- 1968年11月 日本職業スキー教師連盟を設立
- 1975年 1月 インタースキー（国際スキー指導者会議）に参加。以後、毎回参加。
- 1975年 4月 S I A総合スキー会議（フェスティバル）を開催。以後、毎年開催。
- 1977年12月 S I Aオフィシャルスキーメソッドを発刊。（初版より3回改訂）
- 1981年 7月 社団法人日本職業スキー教師協会（S I A）を設立。
- 1987年 7月 総裁に寛仁親王殿下ご就任。
- 1989年 7月 S I A設立20周年記念式典・祝賀会開催。
- 1990年 5月 文部省より社会体育指導者の知識・技能審査事業認定団体に認可される。
- 1992年 4月 第22回国際職業スキー教師連盟総会、第7回世界スキー教師選手権大会がS I A主管のもと、安比高原スキー場にて開催。
- 1996年12月 S I Aスキー教程「The Ski Book」を発刊。
- 1998年11月 S I A設立30周年記念式典・祝賀会開催。
- 2001年11月 「S I Aの理念」制定
- 2003年11月 「スキーの日」制定
- 2005年10月 「トッププロ・SIAデモが教えるスキー欠点克服70」発刊
- 2007年10月 「最新のオーストリアスキー教程」の日本語版発刊
- 2008年11月 S I A設立40周年記念式典・祝賀会開催。
- 2009年12月 「トッププロ・SIAデモが教えるスキーの基本」発刊
- 2011年11月 公益社団法人日本職業スキー教師協会に認定
- 2012年11月 S I A教程「S I A公式スキー&スノーボードメソッド」を発刊。
- 2014年 4月 総裁に彬子女王殿下ご就任。
- 2016年 3月 公益社団法人日本プロスキー教師協会に名称変更

< S I A の概要 > (平成30. 9.30 現在)

会員数 2, 073名

(内訳) ステージⅢ 615名
 ステージⅡ 419名
 ステージⅠ 1, 039名

※会員数には下記種目の教師も含まれます。

スノーボード・ステージⅢ 17名
スノーボード・ステージⅡ 75名
スノーボード・ステージⅠ 170名
テレマークスキー・ステージⅢ 17名
テレマークスキー・ステージⅡ 22名
テレマークスキー・ステージⅠ 43名

公認校 133校

< 会 費 >

年会費 1口 200,000円 (何口でも結構です。会計年度10/1~翌9/30です。)

< 入 会 方 法 >

1. 所定の入会願いに必要事項をご記入の上ご提出ください。
2. その際、年会費 (200,000円×ご希望の口数) をご入金ください。
3. ご提出いただきましてから総務部において審議の上、賛助会員として決定されます。

< 特 典 >

1. インターネット「S I Aホームページ」のトップページに賛助会員名を掲載致します。また、賛助会員リストより御社ホームページへリンクさせて戴きます。
2. スキー学校入校者アンケート調査及び用具・用品調査結果を配布いたします。
3. S I A公認スキー学校住所録を配布いたします。
4. S I Aフェスティバル (総合スキー会議) ・デモンストレーションバーンに、賛助会員様の横断幕を掲示させていただきます。但し、横断幕については賛助会員様でご用意をお願いいたします。
5. S I Aフェスティバル (総合スキー会議) ・「賛助会員情報コーナー」をご利用いただけます。(参加各社ごとにスペースを確保)
6. 年3回発行の「S I Aニュース」に、毎回「賛助会員だより」コーナーを設け、各社の紹介並びに賛助会員リストを掲載いたします。
7. その他、賛助会員様の販売促進にご協力できる事 (サンプリング等) がございましたら、検討させていただきますのでお申し出ください。

[1~6→無料 (年会費に含む)、7→有料]

公益社団法人日本プロスキー教師協会
会 長 中 島 英 臣 殿

賛助会員入会申込書（法人用）

貴協会の主旨に賛同し、賛助会員として入会を致したく、

ここに年会費 200,000円× 口＝ 円

を添え、入会を申し込み致します。

年 月 日

会 社 名 _____

代表者名 _____ 印

担当者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

E-mail _____

受 付 日		担 当 部	
理事会決済		処理内容	
そ の 他			

公益社団法人日本プロスキー教師協会

賛助会員（個人用）ご入会のご案内

公益社団法人日本プロスキー教師協会は、国際スキー教師連盟（I S I A）に加盟し、日本で唯一のプロスキー教師の団体として活動しております。その活動は、プロスキー教師の育成・指導・検定を通じて、その資質の向上をはかり、併せて一般スキーヤーに対するスキー指導及び安全確保に関する調査・研究等を行い生涯スポーツとしてのスキーの発展に寄与してまいりました。

また、スノーボードをはじめテレマークスキー、ラングラウフ（クロスカントリー）、山岳スキーなどあらゆる雪上スポーツの普及と安全の確保に努めております。

今後も協会の活動を活発化し、雪上スポーツの指導を通じて国民の生涯スポーツの発展に寄与してまいり所存です。

つきましては、当協会の主旨をご理解いただき、活動をご支援していただく個人の方々に賛助会員としてのご参加をお願いいたしております。

ご検討をいただき、ご入会いただけますようお願い申し上げます。

< S I Aの歩み >

- 1968年11月 日本職業スキー教師連盟を設立
- 1975年 1月 インタースキー（国際スキー指導者会議）に参加。以後、毎回参加。
- 1975年 4月 S I A総合スキー会議（フェスティバル）を開催。以後、毎年開催。
- 1977年12月 S I Aオフィシャルスキーメソッドを発刊。（初版より3回改訂）
- 1981年 7月 社団法人日本職業スキー教師協会（S I A）を設立。
- 1987年 7月 総裁に寛仁親王殿下ご就任。
- 1989年 7月 S I A設立20周年記念式典・祝賀会開催。
- 1990年 5月 文部省より社会体育指導者の知識・技能審査事業認定団体に認可される。
- 1992年 4月 第22回国際職業スキー教師連盟総会、第7回世界スキー教師選手権大会がS I A主管のもと、安比高原スキー場にて開催。
- 1996年12月 S I Aスキー教程「The Ski Book」を発刊。
- 1998年11月 S I A設立30周年記念式典・祝賀会開催。
- 2001年11月 「S I Aの理念」制定
- 2003年11月 「スキーの日」制定
- 2005年10月 「トッププロ・SIAデモが教えるスキー欠点克服70」発刊
- 2007年10月 「最新のオーストリアスキー教程」の日本語版発刊
- 2008年11月 S I A設立40周年記念式典・祝賀会開催。
- 2009年12月 「トッププロ・SIAデモが教えるスキーの基本」発刊
- 2011年11月 公益社団法人日本職業スキー教師協会に認定
- 2012年11月 S I A教程「S I A公式スキー&スノーボードメソッド」を発刊。
- 2014年 4月 総裁に彬子女王殿下ご就任。
- 2016年 3月 公益社団法人日本プロスキー教師協会に名称変更

< S I A の概要 > (平成30. 9.30 現在)

会員数 2, 073名

(内訳) ステージⅢ 615名
 ステージⅡ 419名
 ステージⅠ 1, 039名

※会員数には下記種目の教師も含まれます。

スノーボード・ステージⅢ 17名
スノーボード・ステージⅡ 75名
スノーボード・ステージⅠ 170名
テレマークスキー・ステージⅢ 17名
テレマークスキー・ステージⅡ 22名
テレマークスキー・ステージⅠ 43名

公認校 133校

< 会 費 >

年会費 1口 10,000円 (何口でも結構です。会計年度10/1～翌9/30です。)

< 入 会 方 法 >

1. 所定の入会願いに必要事項をご記入の上ご提出ください。
2. その際、年会費(10,000円×ご希望の口数)をご入金ください。
3. ご提出いただきましてから総務部において審議の上、賛助会員として決定されます。

< 特 典 >

1. インターネット「S I Aホームページ」の賛助会員リストを掲載(ご希望により)いたします。
2. S I A公認スキー学校住所録を配布いたします。
3. 年3回発行の「S I Aニュース」(同封のもの)に、賛助会員リストを掲載いたします。
4. 記念グッズを配布いたします。
5. その他、賛助会員様にご協力できる事がございましたら、検討させていただきますのでお申し出ください。。

[1～4→無料(年会費に含む)、5→内容次第]

公益社団法人日本プロスキー教師協会
会 長 中 島 英 臣 殿

賛助会員入会申込書（個人用）

貴協会の主旨に賛同し、個人賛助会員として入会を致したく、

ここに年会費 10,000円× 口＝ 円

を添え、入会を申し込み致します。

年 月 日

氏 名 _____ 印

住 所 _____

電 話 _____

E-mail _____

お勤め先 _____

受 付 日		担 当 部	
理事会決済		処理内容	
そ の 他			